学校番号	1006

令和８年度　環境科学

教科	環境	科目	環境科学	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

我々人類、すなわちホモ・サピエンス（*Homo sapiens*）が生きるために必要なものは何でしょうか？夢でしょうか？勇気でしょうか？自由でしょうか？
いいえ、カロリー〔cal〕です！私たちホモ・サピエンスは、生きるためにカロリーを必要とする存在なのです。このカロリーをより効率よく手に入れるために、人類は科学を発展させ、文明を築き、生存の可能性を地球上に広げてきました。そして、偉大な先人たちの末裔である私たちもまた、同じ問いに向き合っています。地球を理解し、環境を学び、そこで生きる方法を知ることです。
　この授業「環境科学」では、理科の分野でいえば地学と生物を中心に扱います。「知る、使う、体感する」このサイクルを繰り返しながら、地球という惑星の仕組みと、そこに生きる私たちの関わりを学びます。そして本授業のゴールは、生き物としての最も基本的な行動である「食べる」ことです。環境を理解し、作物を育て、収穫し、食べる。この一連の過程を通して、「生きるとはどういうことか」を考えます。
授業では、講義に加えてレポート作成や野外実習なども行います。机の上だけでは完結しない、「本物の学び」を体験してください。生きるための知恵を、ここで育てていきましょう。
※この授業では野外にも出るため、体操服が必要になります。また虫などの生物に触れる可能性もあります。

2　学習の到達目標

①自分が住む地球という星の環境についての知識を身に付ける。
②環境について予想、結果、考察をそれぞれ区別して考え、結果からわかることやなぜそうなったのかを分析的、総合的に考察する能力を身に付ける。
③科学な事象に対して、興味関心を持ち、知的好奇心を持って問題を見出し、
　主体的に解決する意欲を高める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	知識の習得や知識の概念的な理解ができているか。	根拠に基づき自ら予想を立て、結果を多角的に観察し、考察を行うための思考力・判断力・表現力などを身につけているか。	知識・技能の習得や思考力・判断力・表現力などを身につける過程において，粘り強く学習に取り組んでいるか，自ら意欲的に発表課題・レポート作成に取り組んでいるか。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	地球という星	地球と他の惑星について違いを理解する 生物が生きるために必要なものを理解する	a:地球の環境の特徴を正しく理解している。 b:適切な内容をまとめることが出来る。 c:生物がいる惑星の環境に興味をもち、生命がどのような条件で生まれるものか調べることができる。	提出物 制作物 小テスト	提出物 制作物 小テスト	提出物 制作物 小テスト 取り組み 姿勢
	生物と環境関係	生物が環境に与える影響について理解する 作物を栽培し実際の生態を理解する	a:生物が与える環境への影響について正しく理解している。 b:　適切な内容をまとめることが出来る。 c:地球の環境を変えてきた生物たちに興味をもち、調べることができる。	提出物 制作物 小テスト	提出物 制作物 小テスト	提出物 制作物 小テスト 取り組み 姿勢
2	地球をとりまく環境問題	地球に影響を与える環境問題について理解する 作物を栽培し実際の生態を理解する	a:環境問題についてどのようなものがあるか正しく理解している。 b:　環境問題に関して適切な内容をまとめることが出来る。 c:地球にある環境問題について考え、調べて、発表することができる。	提出物 制作物 小テスト	提出物 制作物 小テスト	提出物 制作物 小テスト 取り組み 姿勢
2, 3	環境問題を改善するには	環境問題を改善するために私たちや社会に何ができるのか考えていく 作物を栽培し実際の生態を理解する	a:環境問題に私たち、社会がどのようなものがあるか正しく理解している。 b:　環境問題にできる私たち、社会からのアプローチを適切な内容をまとめることが出来る。 c:環境問題を改善するためには何が必要かについて考え、調べて、発表することができる。	提出物 制作物 小テスト	提出物 制作物 小テスト	提出物 制作物 小テスト 取り組み 姿勢

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度